

平成24年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域でつながれ eco ツコ防災チャレンジ
事業主体 (連絡先)	梅とココの会
事業区分	安全安心な地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	624,934円 (うち支援金: 624,000円)

事業内容

- ・6月末、保育園児と保護者、地区民が第1避難所になっている保育園に避難したという想定で、避難所での過ごし方や非常食を作って食べてみる。AED講習会は梅月地区民が行い、紙マキづくりは保護者と子ども達が体験した
- ・10月20日(土)園児が不在の想定で梅月地区民対象に防災訓練を行う。安全確認(マップ使用・黄色の旗確認)・担架訓練無線講習会・発電機、灯光器使用
- ・10月30日保育園で採れたサツマイモを、園児と地区の方で干芋を作る。真空パックにして備蓄品として避難所の保育園の冷凍庫に保存した
- ・11月25日生坂村で抜き打ち防災訓練。  
地区民24名は保育園に迷わず避難できた。電気がつかない想定なので発電機でストーブをつけ灯光器で灯りをつける訓練にもなった。備蓄品の干し芋も試食した。



※1 自己評価 (事業実施率) 【 B 】

事業効果

- ・梅月地区民と保護者に双方の必要性を話していくことで、防災訓練の必要性を一同に伝えることができ防災意識が高まった
- ・春の訓練は梅月地区14人保護者43人(夫婦で参加有)子ども40人であった。秋は梅月地区民20戸62人中26名参加(36名は病気・法事・結婚式・仕事で不参加)このような訓練を定期的にしてほしいと要望が出る。やまなみ荘に訓練の様子を展示した。他の地域の取り組みの刺激となっている。
- ・干し芋は30パック備蓄品として残した。自発的になってきた。
- ・突然の抜き打ち訓練にも迷わず保育園に避難できた。

【目標・ねらい】

- 保育園が第1避難所である事の認識をもち、迷わず避難してくる
- 支えあいの絆を深める
- 園児は地区民に慣れる
- 非難を受け入れる環境を整える

※2 自己評価 (目標達成率) 【 B 】

今後の取り組み

- ・集合、安否確認、行政機関との無線連絡など繰り返し訓練を重ね、色々な想定を考えて対応していく。
- ・避難袋の中を皆で見せ合い、最低限必要な品物をそろえていく。
- ・地区民が避難してきた時、園児が驚かない為に、梅月地区民との交流を深める機会を設ける
- ・防災無線が聞きとりにくい家に対する対応を考え、工夫をしていく
- ・反省会を重ね、意識を高めながら絆を更に深めていく

※1 自己評価欄 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。

※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある